

第22回さいたま市立病院経営評価委員会議事録

日時	令和3年7月1日(木) 10時～11時45分
場所	さいたま市立病院 アッセンブリーホール
出席者	一般社団法人浦和医師会会長 登坂委員長 九州大学名誉教授 尾形委員(Web) 川崎市病院事業管理者 増田委員(Web) 公益社団法人日本医業経営コンサルタント協会東京都支部 青地委員(Web)
事務局	保健福祉局 (地域医療課)松浦課長 市立病院 堀之内院長、小山副院長、増田副院長 市立病院病院経営部 佐野部長 (病院総務課)高橋課長、坂口課長補佐兼総務係長、青野職員係長 (病院施設管理課)赤沼参事兼課長、池田管理・防災係長、今井施設係長、庄田主事 (病院財務課)浅野課長、富田課長補佐兼財務企画係長、廣町調達係長、平林主査、石橋主査、山崎主任 (医事課)増田課長、栗原課長補佐兼医事企画係長、吉田医事管理係長 (情報管理室)鈴木参事兼情報管理室長 (患者支援センター)安西看護部長兼患者支援センター所長、日向副所長、竹村主幹 市立病院診療部 (薬剤科)玉川科長 (中央放射線科)藤田技師長 (中央検査科)手塚技師長
次第	1 開会 2 議事 (1)中期経営計画の達成状況に対する評価について (2)さいたま市立病院中期経営計画 改定の方向性 3 その他 4 閉会
配付資料	・第22回さいたま市立病院経営評価委員会次第 ・さいたま市立病院経営評価委員会委員名簿 ・配席図

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さいたま市立病院中期経営計画の達成状況について 【令和2年度評価(案)】</li> <li>・A3版 項目評価一覧</li> <li>・さいたま市立病院中期経営計画 改定の方向性</li> </ul>
<p>1 開会 浅野病院財務課長</p>	<p>定刻になりましたので、ただいまから第 22 回さいたま市立病院経営評価委員会を始めさせていただきたいと思います。</p> <p>委員の皆様方におかれましては、業務ご多忙の折にもかかわらず、当委員会にご参加いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>申し遅れましたが私、本日の進行を進めさせていただきます、病院財務課長の浅野と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>まずは、お手元の資料の確認をしたいと思います。</p> <p>お手元の資料、「第 22 回さいたま市立病院経営評価委員会次第」が 1 枚、続きまして「さいたま市立病院経営評価委員会委員名簿」が 1 枚、続きまして「配席図」が 1 枚、タイトルが「さいたま市立病院中期経営計画の達成状況に対する評価について【令和2年度評価(案)】」が 1 部、続きまして、A3版資料になります左上に評価項目一覧と書いてある表が 1 枚、さらに、A4判の縦の資料になりますタイトルが「さいたま市立病院中期経営計画 改定の方向性」が 1 枚となります。以上でございますが、お手元でございますでしょうか。本日こちらの資料を使って進めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>また、本日の会議でございますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、Web 会議とさせていただきます。</p> <p>恐れいりますが、ご発言の際には、左下でございますマイクの部分をクリックしてからご発言いただきますようお願いいたします。</p> <p>それでは開会に先立ちまして、院長の堀之内よりご挨拶を申し上げます。それでは、院長お願いします。</p> <p>皆様、おはようございます。院長の堀之内でございます。</p> <p>本日は大変お忙しい中、また、さいたま市は非常な土砂降りでしたが、お足元の悪い中、当院の経営評価委員会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>昨年来より続く新型コロナウイルス感染症は、ワクチン接種の進展はあるものの、現在も終息の兆しが見えない厳しい状況の中にあります。</p> <p>その中において、当院は、さいたま市内で唯一の感染症指定医療機関であることから、積極的な患者の受け入れを行って参りました。現在は 51 床の新型コロナウイルス感染症病床を運用しております、現在</p>
堀之内院長	

<p>浅野病院財務課長</p>	<p>まで、588人の確定症例の入院診療を行っております。</p> <p>一方、新型コロナウイルス感染症に細心の注意を払いつつ、通常診療への影響を最小限に抑えながら病院経営を行っているところでございます。</p> <p>しかしながら、中期経営計画の策定時には想定していなかった感染症の拡大でございますので、計画の進捗に影響が生じてきている項目もございます。</p> <p>さて本日は、当期の中期経営計画の4年目に当たります、令和2年度の取り組み結果につきまして、委員の皆様方のご評価をいただきたいと考えております。</p> <p>委員の皆様方におかれましては、大変限られた時間ではございますが、当院の中期経営計画の取り組み内容に対して、忌憚のないご意見をちょうだいしたいと思います。本日はよろしくお願い申し上げます。</p> <p>堀之内院長ありがとうございました。</p> <p>それではこれから議事に入りますが、その前に委員の皆様にご了解いただきたいことがございます。</p> <p>さいたま市立病院経営評価委員会設置要綱第7条に基づきまして、会議は原則公開となっております。公開となりますと、本日の会議録、会議室資料等は、各区役所の情報公開コーナー、市のホームページ等で市民の閲覧に供されることとなります。</p> <p>ただし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため傍聴については、非公開とさせていただきます。</p> <p>また、委員の皆様のご同意があった場合は、会議録、会議資料につきましても非公開とすることができますが、本日の会議は公開ということでよろしいでしょうか。</p>
<p>委員一同 浅野病院財務課長</p>	<p>はい。</p> <p>それではご異議なしということで、本日の会議は、公開とさせていただきます。</p> <p>それでは議事に入らせていただきますので、登坂委員長、進行のほどよろしくお願い申し上げます。</p>
<p>2. 議事 登坂委員長</p>	<p>皆さん、こんにちは。</p> <p>さいたま市立病院経営評価委員会にお集まりいただきましてありがとうございます。</p> <p>コロナ禍でございますので、ハイブリットのWeb会議となっておりますが、慎重なご審議をいただきたいと思います。</p>

<p>浅野病院財務課長</p>	<p>それでは議事に入らせていただきます。次第をご覧ください。</p> <p>議事(1)「中期経営計画の策定状況に対する評価について」です。</p> <p>評価の進め方ですが、まず取組項目について評価を行います。次に、「収支計画・主要経営指標の達成状況」について、委員の皆様からご意見を伺った上で、全体的な評価を行っていきたく思っております。</p> <p>また、評価項目は大項目ごとに行いますので、事務局から大項目を一区切りとして、ご説明いただき、その後、委員の皆様からご意見をちょうだいしたいと思っております。</p> <p>なお、大項目は9項目ございまして、1項目当たり質疑応答時間は5分と考えておりますので、委員の皆様には、円滑な議事の進行にご協力いただきたいと思います。</p> <p>まず、「(1)地域の基幹病院としての地域医療における中核的な役割」、「①公立病院として地域住民から求められる医療機能の提供」について、事務局より説明をお願いいたします。</p> <p>それでは事務局よりご説明させていただきます。</p> <p>まず、お手元の資料の見方について簡単にご説明をさせていただきます。</p> <p>恐れ入ります。A3判の資料、こちらをご覧ください。</p> <p>こちらの資料でございますが、お手元でございます冊子の「さいたま市立病院中期経営計画の達成状況について」の評価項目について一覧にしたものでございます。</p> <p>まず、こちらの表の方をご覧くださいますと、左から「目指すべき方向性」から「備考」まで欄がございます。</p> <p>当院の「目指すべき方向性」は、「(1)地域の基幹病院としての地域医療における中核的な役割」とその下にございます「(2)健全な経営基盤の確立」の2つに大きく分かれております。</p> <p>さらに、その隣「大項目」でございますが、「目指すべき方向性」は、さらにこの「大項目」によって分かれております。</p> <p>「大項目」につきましては、「①公立病院として地域住民から求められる医療機能の提供」から始まりまして、「④病診連携の強化」まででございます。</p> <p>さらにその隣ですが、大項目は、細かく「中項目」に分かれてございます。</p> <p>例えば、「①公立病院として地域住民から求められる医療機能の提供」に関して申し上げますと、「ア施設整備の推進」から、「カ災害拠点</p>
-----------------	---

病院としての体制整備」までそれぞれ分かれております。

さらにその隣、「評価ウエイト」でございますが、中項目に対する評価ウエイトになってございます。この「評価ウエイト」の見方でございますが、表の右下「④中項目に対する評価ウエイトの設定」、こちらに基づいて設定されております。それぞれ難易度、重要度から判定しまして、AからCまでに分かれております。

さらに、表の上のほうに戻っていただきますと、ウエイトの横に「小項目」というのがございます。

「小項目」は、中項目に対する具体的な取組内容として列挙してございます。

その隣、「令和2年度目標」につきましては、各小項目の目標となります。

またその隣「令和2年度実績」につきましては、目標に対する実績といこうことで記載してございます。

その隣「小項目評価」につきましては、下の方「②小項目評価の点数」ということでそれぞれsからdまで点数の方をふっております。

その隣「評価点数」というのが、さきほどの小項目評価の点数となっております。ただし、こちらにつきましては、ウエイトと先ほどの点数を掛け合わせて算出してございますので、小数点以下の端数が発生しております。

さらに、その隣、「評価点数合計」でございますが、先ほど申し上げました評価点数の合計点数になります。例えば大項目①につきましては、「評価点数合計」が49.2点というかたちになります。

またその隣、「評価点数／満点」でございますが、こちらはいわゆる得点率でございます。大項目「①公立病院として地域住民から求められる医療機能の提供」をご覧くださいますと、満点115点と書かれてございます。この115点に対する「評価点数合計」の割合を示しております。たとえば、こちらの場合ですと43%となります。

さらにその隣の「病院評価」でございますが、さきほどの「評価点数／満点」から導き出される病院の評価となっております。

こちらの考え方は下の方「③満点評価点数に占める小項目評価点数の割合による大項目」に基づきまして、SからDまで分かれております。

そして、その隣、「外部評価」でございますが、こちらは現在空欄になってございます。本日の報告を基に委員の方々からご意見を頂戴してこちらの欄を埋めていきたいというふうにご考えてございます。

こちらの表の説明については以上となります。

恐れ入ります、「さいたま市立病院中期経営計画の達成状況について」の冊子をご覧ください。こちらの見方についても、簡単にご説明いたします。

ページをおめくりいただきますと、項目評価一覧の表がございますが、こちらは先ほどのA3版の表と同じものとなります。

「Ⅰ項目評価」の扉ページがありまして、ページをおめくりいただきますと、それぞれの小項目に対する評価が書いてございます。

1ページ目の評価をご覧くださいますと、目指すべき方向性ということで、「(1)地域の基幹病院としての地域医療における中核的な役割」、がございまして、大項目「①公立病院として地域住民から求められる医療機能の提供」がございまして、さらに、病院評価としまして43%、また、病院評価としましてBがございまして、その隣の「委員会評価」、「委員会による評価修正理由」につきましては、本日のご意見を頂戴して、それを踏まえて記載のうえ、次回の会議で報告させていただければと思います。

それでは、下の方をご覧くださいますと、中項目、小項目、令和2年度目標、令和2年度実績、取組内容とございまして、こちらが今回ご意見頂戴したいと思っております、令和2年度取組内容でございまして。

また、表の半分以下につきましては、過年度分の評価となっておりますので、ご参考までにご覧いただければと思います。資料については、以上になります。それではさっそく各大項目についてご説明をさせていただきます。

なお、本日、ご参加いただいております、増田先生におかれましては、業務のご都合上、途中退席もあるとお聞きしてございますので、委員の皆様にも、その点ご了承いただけるようよろしくお願いいたします。

また、本日出席している事務局の職員に申し上げます。委員の方から質問があった場合、ipadを使ってご回答したいと思っております。ipadはお手元にお持ちしますので、お答えの際は、挙手のうえお答えくださいますようお願いいたします。

それでは、早速説明の方をさせていただきます。今回、ご説明させていただく小項目は49と大変多くございます。

今回につきましては、目標を大幅に上回っている、目標達成または目標を上回っているs・a以外のb・c・dについてご報告をさせていただければと思います。

では、冊子の1ページをご覧ください。

まず、目指すべき方向性の「(1)地域の基幹病院としての地域医療

における中核的な役割」、大項目「①公立病院として地域住民から求められる医療機能の提供」、中項目「ア施設整備の推進」、小項目「1新病院建設事業の円滑な推進」についてご説明させていただきます。

令和2年度の目標ですが実施、それに対する令和2年度の実績は一部実施。右の方ご覧いただきまして小項目評価は、dとしてございます。

その理由でございますが、病院評価説明をご覧いただきますと、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に備え、旧病棟の活用の可能性も勘案し、6月に今年度予定している各工事について延期することとしたため、令和2年度は新病院建設事業を進めていくことができなかったということから、dとしてございます。

さらに、ページをめくっていただき、3ページ目こちらをごらんください。こちらは、中項目「イ急性期病院としての機能強化と充実」、小項目「3平均在院日数の適正化」でございます。

令和2年度の目標が 12.0 日、それに対しまして令和2年度の実績は 12.4 日となっております。右の方、小項目評価はbとしてございます。

その説明でございますが、一番下の段落でございます、平均在院日数が増加した要因としまして、新型コロナウイルス感染症患者の転院や退院時、受け入れ可能な医療機関・施設等が少なく調整が困難だったことや、新型コロナウイルス感染症患者のみならず一般病床の患者の転院や施設入所においても、PCR 検査を患者受け入れの条件とする医療機関等が多く調整に時間要したということから、bとしてございます。

続きまして4ページ目ご覧ください。

小項目「4手術件数の増加」でございます。令和2年度の目標でございますが 6,300 件/年、それに対して令和2年度の実績は 4,835 件/年となっております。小項目評価でございますがcとしてございます。

その理由でございますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大初期は、予定手術枠の減少や不急の手術は先に延ばす等の理由で昨年の6割程度まで手術数が落ちてしまったということから、cとしてございます。

さらにページをおめくりいただきまして。6ページ目こちらをご覧ください。

中項目「ウ救急医療対応の充実」、小項目「6救急搬送患者数の増加」でございます。

令和2年度の目標は 7,000 件/年でございますが、令和2年度の実績が 6,820 件/年でございます。小項目評価でございますが、bとしてございます。

その説明といたしましては、市内の救急車出動件数が前年度に比べ13.4%減少したことなどから、救急搬送患者数は、目標に対し97.4%の達成率となったというところから、bとしてございます。

恐れ入ります。さらにページをおめくりいただきまして、9ページ目こちらをご覧ください。

中項目「エがん診療の機能強化と充実」、小項目「9化学療法実施件数の増加」でございます。

令和2年度の目標は7,200件/年でございますが、令和2年度の実績が5,186件/年でございます。右の方の小項目評価でございますが、cとしてございます。

その説明といたしましては、新病院となり、化学療法室のベッド数も10床から20床に増加したが、化学療法の適応となるがん種の患者が少なく、目標値を下回った。というところから、cとしてございます。

さらにその下10ページ目をごらんください。

こちらは、小項目「10内視鏡治療処置件数の増加」でございます。

令和2年度の目標は1,900件/年でございますが、それに対する令和2年度の実績が1,365件/年でございます。小項目評価でございますが、cとしてございます。

説明でございますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、近隣の病院と同様に不急の内視鏡検査を控えたということから、cでございます。

さらにページをおめくりいただきまして、11ページ目こちらをご覧ください。

中項目「オ周産期母子医療センターとしての機能維持と強化」、小項目「11新生児対応機能の維持」でございます。

令和2年度の目標は実施、それに対する令和2年度の実績は実施としてございます。右の方、小項目評価でございますが、bとしてございます。

新型コロナウイルス感染症に罹患している妊婦の出産を計6例と埼玉県内で一番多く受け入れた。3月に職員が新型コロナウイルス感染症に罹患したため、入院制限をせざるを得なかったということから、bとしてございます。

さらにページをおめくりいただきまして、14ページ目をご覧ください。

こちらは、中項目「カ災害拠点病院としての体制整備」、小項目「14災害時における医療体制の充実」でございます。

令和2年度の目標は実施、それに対する令和2年度の実績が実施と



	<p>してございます。右の方の小項目評価でございますが、bとしてございます。</p> <p>説明でございますが、災害時に鍵となる黄色エリアをアクションカードをもとに物品を運び出し、設営検証を行ったが、事業継続計画（BCP）の修正にまで至らなかったということから、bとしてございます。</p> <p>さらにページをおめくりいただきまして、15 ページ目をご覧ください。</p> <p>小項目「15DMAT チーム体制の充実」でございます。</p> <p>令和2年度の目標は実施、それに対する令和2年度の実績が実施としてございます。右の方の小項目評価でございますが、bとしてございます。</p> <p>説明でございますが、日本 DMAT 研修の受講については、申込希望者はいたものの研修日程などの都合が合わず、今年度は申込はしなかったということから、bとしてございます。</p> <p>恐れ入りますA3版の資料こちらの方にお戻りください。</p> <p>大項目「①公立病院として地域住民から求められる医療機能の提供」の小項目評価b以下につきましては、以上となります。</p> <p>評価の個数でございますが、aが6個、bが5個、cが3個、dが1個となっております。</p> <p>大項目①についての説明は以上です。ご審議のほどよろしく願いいたします。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>市立病院の内部評価では、aが6件、bが5件、cが3件、dが1件で、平均による評価がBとなっております。</p> <p>d評価は、「新病院建設事業の円滑な推進」として、冒頭に説明があったものになります。</p> <p>それでは委員の皆様のご意見、ご質問、ご意見を伺いたいと思いますので、ご発言をお願いいたします。</p> <p>コロナの関係で達成に至らないものが多かったと思いますが、増田先生いかがでしょうか。</p>
登坂委員長	<p>増田でございます。</p> <p>委員長がおっしゃるようにコロナの影響がかなり感じられました。</p> <p>例えば小項目1ですが、旧病棟をコロナ患者対応で使う可能性があるために延期したということなので、地域住民あるいは国、県、市から求められる医療のために行ったことで、結果的にdがついてしまうのは致し方ないと聞いておりました。</p> <p>また他にもいろいろとコロナの影響があると思いました。</p>

<p>登坂委員長</p> <p>尾形委員</p>	<p>例えば、小項目「6救急搬送患者数の増加」の目標値は、コロナの影響を考慮しておらず 7,000 件ですが、実績が目標及び前年からも下回っているということで、数値的にはbとなっております。</p> <p>しかし、市内の救急車出勤出動件数が前年度に比べ 13.4%減少したのですが、前年の 7,114 件から令和2年度の 6,820 件では、6%ぐらいの減少になると思います。ですから、市全体の救急対応に対するシェア率は、上がっているのだらうと思います。</p> <p>評価は評価として仕方がない部分なのでしょうが、そういったことを思いました。</p> <p>逆に、5ページ目、前年までずっとbであったのが、令和2年度は、高度な手術を多くやったために、aになっているのだと思います。</p> <p>さいたま市立病院は、人も育てなければならず、一定程度難易度の低い手術もやらなければならない研修病院でもあるので、これはコロナの影響によって、上がっていると思いながら、お聞きしていたところ です。</p> <p>いずれにしてもコロナの影響は、かなりあるというように感じました。ありがとうございます。</p> <p>それでは、尾形先生いかがでしょうか</p> <p>はい。ありがとうございます。尾形です。</p> <p>私も全体として、新病院移行後も非常によくやっておられるという印象を持ちました。</p> <p>増田委員からもお話があったように、小項目評価でdとかcになっているものも、これはコロナの影響がほとんどであり、納得できる内容というふうに思います。</p> <p>それからそういったことも含めて、cやdをつけて、自ら厳しい評価をしておられるというところについては、非常に感銘を受けました。</p> <p>1点ですが、ページ数で言うと、9ページのところで、化学療法実施件数の増加ということで、cという評価になっているのですが、確かに令和2年度実績が 5,186 件/年で、目標は 7,200 件/年ですから、8割いってないということで、c評価ということなのですが、ただ下の方の過去の実績から見ると、4,000 件台だったわけで 5,000 件というのは、そんなに悪い数字ではないと思います。</p> <p>ただ、おそらくこの説明にありますように、ベッド数を 10 床から 20 床に増やした中では、ちょっと物足りないということだらうとは思いますが、非常に頑張っておられるということは、事実だらうと思います。</p> <p>そういう意味では、全体にかなりご自分に厳しめの評価をしておられ</p>
--------------------------	--

<p>登坂委員長</p> <p>青地委員</p>	<p>るので、先ほど申し上げましたように、私自身はこれに非常に感銘を受けているところです。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>それでは青地委員いかがですか</p> <p>青地です。おはようございます。</p> <p>今、お2人の先生が、すでにもうお話されているので、大分重複しますけれども、やはりコロナの影響で特に手術絡みの件数が、減ったりしているのは、ある意味、仕方がないのかなという気がいたします。</p> <p>一つ質問させていただきたいのですけれども、先ほどもちょっと話に出ました救急の件数です。6ページの件数ですけれども、ここが減少したということは、直接コロナと関係があるのか、あるいは、先ほど増田委員がお話されていたように、救急車がよその医療機関等々に分散したということがあるのか、その辺の原因がもし分析できていれば教えていただきたいと思います。</p>
<p>登坂委員長</p>	<p>以上です。</p> <p>今の救急車の搬送患者数が減っているといったことで、他の病院に搬送患者が行っているのかという質問に対して、堀之内先生ご説明いかがでしょうか。</p>
<p>堀之内院長</p>	<p>お答えします。</p> <p>昨年の12月1日から救命救急センターの指定を受けることができて、救命救急医5名と院内からの3名の転籍を含めた8名で救命救急センターを動かしているところです。この3次救急に人員を集めたことによって、救命救急、救急対応はかなり充実したと思っています。</p> <p>この説明にございますように、昨年度、特に5月6月は、救急車の出動台数が、2割から3割近く減少したというふうに伺っております、その時期は当院も救急患者が非常に少なくなったということがありますが、その後、12月から救命救急を動かしていくところで、少しずつ回復していったところです。</p> <p>説明にもございますように、昨年度は例年に比べまして、出動台数が13%も減っているというところなので、この程度で済んだということは、救命救急が活躍してくれたということと、2次救急での患者対応の成果だというふうには思っております。</p>
<p>登坂委員長</p> <p>増田委員</p>	<p>ありがとうございます。増田委員お願いします。</p> <p>特に4月、5月、6月は、やっぱり手控え、交通事故が減ったかどうかわかりませんが、川崎市も出動台数がやはり前年より減っております。その分、シェア率は上がっております。</p>

登坂委員長	<p>今のさいたま市立病院の場合も、出勤台数は減って、救急の受入れ件数は減っておりますが、市の出勤に占めるシェア率は上がっているのだろうなというように思います。</p> <p>川崎市立川崎病院の方ですけれども、やっぱり同じような傾向がありましたので、補足させていただきました</p> <p>委員の皆様、他にご意見ございますか。委員の皆様からもだいたいコロナの関係で仕方がなかったというような、ご意見でございますでしょうか。それでは、この事務局案に関しまして、B評価ということによろしいでしょうか。</p> <p>ご異議がないようですので、B評価ということにさせていただきたいと思えます。</p> <p>それでは、続きまして、大項目「②医療の質の向上」に移りたいと思えます。それでは、事務局よりの説明をお願いします。</p>
浅野病院財務課長	<p>それでは、事務局より大項目「②医療の質の向上」こちらについてご説明させていただきます。恐れ入ります。冊子の資料の18ページ目、こちらをご覧ください。</p> <p>目指すべき方向性「(1)地域の基幹病院としての地域医療における中核的な役割」、大項目「②医療の質の向上」、中項目「ウ医療安全に関する取組の更なる強化」、小項目「19 医療安全関連の研修会・セミナー等の開催件数」、こちらについてでございます。</p> <p>令和2年度の目標でございますが、8回/年を予定してございました。それに対する実績でございますが8回/年になってございます。右の方の小項目評価、こちらご覧いただきまして、bとしてございます。</p> <p>こちらの説明でございますが、病院評価説明欄の一番下のほう、開催を計画していた結核研修については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止としたということから、若干目標を下回ったということで、b評価にしてございます。</p> <p>恐れ入ります。A3判の資料にお戻りいただきまして、確認の方をお願いいたします。</p> <p>大項目「②医療の質の向上」でございます。こちらの満点41点となっております。</p> <p>評価の内訳でございますが、a評価が4個、b評価が1個となっております。</p> <p>真ん中から右の方、評価点数の合計でございますが、26.6点となっております。</p> <p>それに対する割合でございますが65%、病院評価としてはA評価とし</p>

登坂委員長	<p>でございます。</p> <p>大項目「②医療の質の向上」についてのご説明は以上になります。ご審議のほどよろしくよろしくお願いいたします。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>市立病院の内部評価では、a評価が4件、b評価が1件で、平均による評価はAとなっております。</p> <p>それでは、委員の皆様のご意見、ご質問を受けたいと思います。</p> <p>それでは、増田委員お願いします。</p>
増田委員	<p>今ご説明ありました、18 ページの部分が、実績ってということだけで見れば、令和元年度前も含めて、令和2年度も8回ということですが、コロナのために、一部できなかつたってということでbにされたという、尾形委員もおっしゃっていましたが、非常に自らに厳しい、非常に厳しいつけ方だなと思って聞いておりました。</p>
登坂委員長	<p>ありがとうございます。</p>
尾形委員	<p>それでは尾形委員いかがでしょうか。</p>
尾形委員	<p>ありがとうございます。尾形です。</p> <p>この医療の質の向上については、ほとんどの項目がa評価ということで、これは大変結構なことだと思います。</p> <p>18 ページだけが、bとなっておりますが、これも増田委員がおっしゃった通りでかなり厳しめの評価だと思います。目標は、一応クリアしているけれども、内容的に多少物足りないということで、bにされているのだろうと思います。</p> <p>1点これに関連して質問させていただきたいのですが、この感染症の管理について認定看護師制度がありますが、現在、感染症管理の認定を受けている看護師というのは何人ぐらいおられるのでしょうか。</p>
堀之内院長	<p>堀之内です。お答え申し上げます。</p>
堀之内院長	<p>今、2人感染管理看護師がおりまして、もう1人を養成中というところ</p>
堀之内院長	<p>です。</p>
登坂委員長	<p>以上です。</p>
登坂委員長	<p>尾形委員よろしいでしょうか。</p>
青地委員	<p>それでは、青地委員お願いいたします。</p>
青地委員	<p>もうお 2 人の委員がおっしゃってくださったのですが、コロナ禍でありながら、実績をきちんと積み重ねているのは素晴らしいなと思います。</p>
青地委員	<p>以上です。</p>
登坂委員長	<p>それでは、委員の皆様からご意見をいただきましたけれども、</p>
登坂委員長	<p>事務局案の通り、A評価ということですのでよろしいでしょうか。ではそのよう</p>

<p>浅野病院財務課長</p>	<p>にさせていただきます。</p> <p>それでは続きまして、大項目「③利用者サービスの向上」についてに移りたいと思います。</p> <p>それでは事務局より説明をお願いします。</p> <p>それでは、事務局より大項目「③利用者サービスの向上」こちらについてご説明させていただきます。</p> <p>恐れ入ります、冊子の方の 23 ページ目、こちらをご覧ください。</p> <p>大項目「③利用者サービスの向上」、中項目「イ院外への情報発信」、小項目「24 市民公開講座の実施」でございます。</p> <p>令和2年度の目標が、20 回/年としてございます。</p> <p>それに対する、令和2年度の実績は、残念ながら0件/年となっております。</p> <p>右の方、ご覧いただきますと小項目評価は、dとしてございます。</p> <p>その説明でございますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から今年度の開催について見送ることとしたということから、小項目評価は、dとしてございます。</p> <p>恐れ入ります。A3判の表、こちらをご覧ください。こちらをご覧いただきますと、b以下の評価は、先ほど申し上げました市民公開講座の実施のみということですので、ご報告させていただきました。</p> <p>評価の個数でございますが、sが1個、aが3個、dが1個となっております。</p> <p>満点に対する割合でございますが、66%となっております。</p> <p>当院の評価でございますが、A評価としてございます。</p> <p>こちらについての説明は、以上になります。</p> <p>ご審議のほうよろしく願いいたします。</p>
<p>登坂委員長</p>	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>さいたま市立病院の内部評価では、s評価が1件、a評価が3件、d評価が1件で、平均による評価はAとなっております。</p> <p>このd評価ですけれども、市民公開講座は実施できなかったということですが、当時はやってはいけなかったわけであって、これはもうやむを得ないというか、d評価とするのは、どうかなというふうに感じますけれども、できなかったということでd評価となっているのでしょうか。</p> <p>委員の皆様のご質問、ご意見がありましたら、どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>それでは、増田委員をお願いします。</p>
<p>増田委員</p>	<p>今の市民公開講座の件なのですが、当然コロナ禍では、対面では人</p>

<p>登坂委員長</p>	<p>が集まる、密になるということで開催できないと思います。</p> <p>私どもの病院も苦慮しております、回数はそれほどできなかったのですけれども、昨年度からWeb開催をいたしておりますが、今年度もWeb開催で、一定の回数をやろうと思っております。</p> <p>アナウンスは、市民公開講座と同じように院内にて告知することと、市の広報誌を使ってWeb開催を行うことを周知しております。</p> <p>もちろんご計画にあるのだろうとは思いますが、ご参考までに紹介させていただきました。</p> <p>以上です。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>尾形委員いかがでしょうか。</p>
<p>尾形委員</p>	<p>この利用者サービスの向上を見ると、1つがdで、1つがsで、あとはaなので、全体としてA評価ということなのですが、増田委員からお話があったdになっている、市民公開講座の実施については、やはりWeb開催というようなことも、今後考えていかれると良いと思います。</p> <p>一方で 25 ページにありますように、ホームページへのアクセス件数が、非常に増加しているということでもあるので、やはりこれからは対面だけではなく、こういうWebを活用していくことが、重要なのではないかと思います。</p> <p>以上です。</p>
<p>登坂委員長</p> <p>青地委員</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは青地委員、いかがですか。</p> <p>お2人の委員の方が、もう本当におっしゃっていただいたところではございまして、やはりこのホームページのアクセス数については、本当に驚くばかりの数なのですけれども、こうやって皆さん、市民の方がアクセスしてくださっているので、Web開催の公開講座とかは、そこからリンクを張っていけば見てくださる方も増えるのかなというふうには感じます。</p> <p>以上です。</p>
<p>登坂委員長</p> <p>浅野病院財務課長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは事務局案通り、評価はAということでよろしいでしょうか。</p> <p>ご異議がないようですので、調整の上、次回までに評価案を取りまとめたいと思っております。</p> <p>続きまして、大項目「④病診連携の強化」に移りたいと思います。</p> <p>事務局よりの説明をお願いします。</p> <p>それでは大項目「④病診連携の強化」についてご説明させていただきます。</p>

	<p>恐れ入ります、冊子の方の 27 ページ目、こちらをご覧ください。</p> <p>大項目「④病診連携の強化」、中項目「イ産科セミオープンシステムの充実」、小項目「28 登録医療機関数の増加」でございます。</p> <p>令和2年度の目標でございますが 25 件、それに対します実績が 20 件となっております。評価でございますが、b評価としてございます。</p> <p>その説明でございますが、分娩取扱施設は、埼玉県でも年々減少する一方であり、令和2年度は、昨年度の実績数からさらに施設が減少したということから、小項目評価をbとしてございます。</p> <p>さらにその下の 28 ページ目、こちらをご覧ください。</p> <p>小項目「29 取扱件数の増加・維持」でございます。</p> <p>令和2年度の目標が 180 件以上、それに対します令和2年度の実績が 150 件となっております。</p> <p>右の方の小項目評価でございますが、b評価をしてございます。</p> <p>その説明でございますが、さいたま市全域に当たってのセミオープンシステムを中心とした地域の周産期連携を深めるため、積極的に地域の先生方との意見交換を行ったということから、b評価としてございます。</p> <p>さらにページをおめくりいただきまして、29 ページ目、こちらをご覧ください。</p> <p>こちらは中項目「ウ(仮称)地域医療支援センターの設置に向けた機能強化」、小項目「30 情報交換のための医療機関訪問」でございます。</p> <p>令和2年度の目標でございますが実施、それに対する実績は実施としてございます。</p> <p>また、評価でございますが、b評価としてございます。</p> <p>その説明でございますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、医療機関への訪問を極力控えたことから、医療機関との連携は一般病院1件、療養病院1件、ケアミックス病院5件の訪問・情報交換にとどまったということから、小項目評価をbとしてございます。</p> <p>さらに資料を見ていただきまして、31 ページ目、こちらをご覧ください。</p> <p>こちらは小項目「32 院内職員に対する退院支援研修会の開催」でございます。</p> <p>令和2年度の目標は3回/年、それに対しまして実績は0回/年でございます。</p> <p>右の方の小項目評価でございますが、d評価としてございます。</p> <p>その理由でございますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防</p>
--	--



	<p>止のため、院内研修会等の開催を控えたことから、開催数は0回であったということから、d評価としてございます。</p> <p>恐れ入ります。A3版の表こちらをご覧ください。</p> <p>下の大項目「④病診連携の強化」、満点 45 でございますが、右の方ご覧いただきまして、評価の個数でございますが、s評価が1個、a評価が1個、b評価が3個、d評価が1個となっております。</p> <p>評価点数合計でございますが 22.4 点、割合でございますが 50%となっております。</p> <p>病院評価は、B評価としてございます。</p> <p>こちらについての説明は以上になります。ご審議のほどよろしくお願いいたします。</p>
登坂委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>さいたま市立病院の内部評価では、s評価が1件ですが、先ほど説明がなかったかもしれませんが、相談件数が 2,300 件から 3,443 件と目標を大変上回ったということからs評価となっております。</p> <p>その他は、a評価が1件、b評価が3件、d評価が1件となっております。</p>
増田委員	<p>これは先ほど説明がありましたけれども、院内研修会が0回であったことからd評価となっております。平均値による評価は、Bとなっております。</p> <p>それでは、委員の皆様、ご質問、ご意見等ございましたら、ご発言をお願いします。</p> <p>それでは、順番に増田委員お願いできます。</p> <p>コロナやその他の影響もあった上でのことだと思っておりますが、s評価は、増員し非常に積極的に地域医療病診連携に取り組まれているという結果であろうと思っております。こんなに増えるのかと感銘を受けていたところでは。</p>
登坂委員長	<p>特に私からございません。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>尾形委員いかがですか。</p>
尾形委員	<p>ありがとうございます。尾形です。</p> <p>この項目、病診連携の強化というのは、やはり地域医療支援病院あるいは、市立病院として非常に重要なところであるというふうに思っております。</p> <p>bが割と多くて、あとsとdがあり、少しバラけているところがあるのかなというふうに思いますが、この 30 ページのsのところを見ると、先ほど</p>

	<p>委員長からお話があったように、医療相談対応件数が大幅に増えているということは、大変結構なことだと思います。</p> <p>その取り組み内容のところで質問させていただきたいのですが、取り組み内容に、医療機関及び介護事業所等の関係機関と連携調整を行ったというふうに書かれていますが、これは具体的には例えばどんなことをされたのでしょうか。</p>
登坂委員長	<p>どうもありがとうございます。それでは、事務局よりお願いします。発言前に所属を言ってください。</p>
日向患者支援センター副所長	<p>患者支援センターの日向と申します。</p> <p>なかなかコロナ禍で訪問等ができない中で、当院に来ていただいた、医療機関とか介護事業者等と、定期的にいろんな情報交換を行っています。また、そういった情報をもとに、カンファレンス等で情報共有を行い、退院調整とか入院調整の情報を院内で共有し、様々な場面で対応できるようにしていったというところです。</p>
堀之内院長	<p>院長の堀之内です。追加をさせていただきたいと思います。</p> <p>患者支援センターの方に、日勤帯でだいたい5人から6人の看護師を配置しております。あとは、事務方、委託の方ですけれども、4人から6人が、入退院支援に当たっております。</p> <p>あと、救命救急は、医師事務作業補助者とメディカルソーシャルワーカー、退院事務を1人ずつ、合計3人配置しております。</p> <p>そのことによって、病棟もよく回るようになりましたし、意見調整もうまくいっており、職員の努力が数字に現れていると思っております。</p> <p>以上でございます。</p>
登坂委員長	<p>尾形委員いかがですか。</p> <p>よろしいでしょうか。</p>
尾形委員	<p>はい。結構です。</p> <p>ありがとうございました。</p>
登坂委員長	<p>それでは青地委員。</p> <p>ご意見を伺いたいと思います。</p>
青地委員	<p>そうですね。</p> <p>感想みたいになってしまいますが、本当にコロナ禍になって治療している現場だけではなく、本当に色々なところに影響が出てるのだなということを感じました。</p> <p>この中で気になったのが、産科のセミオープンシステムのところなのですけれども、結構やっぱり出産数自体が減ってきている中で、数を維持していくというのは、いろいろ大変だと思うのですけれども、このコ</p>

<p>登坂委員長 堀之内院長</p>	<p>ナが終了した時に、この数がさらに減るのかあるいは、維持できるのかというところは、ちょっと興味を持ってというか、そういう言い方がいいかどうかちょっとわからないですが、見ていきたいかなというふうには思います。</p> <p>以上です。</p> <p>堀之内先生どうですか。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>昨年4月から12月まで、母子手帳の発行数を見ていると、10%近く落ちているということがあるので、今後もやはりこのセミオープンシステムにも影響が出てくるというふうに思っております。</p> <p>あとは、出産数に関しても、影響が出てくるのだろうというふうに思っておりますが、今のところ、7月に入るところなのですけれども、当院の出産の予約数としては、それほど落ちていないので、近隣の先生方からの信頼を受けて、そういう状況になっているというふうに理解しています。</p>
<p>登坂委員長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>セミオープンシステムを利用している地域の医療機関の数が、若干減ってきているというのも原因だろうとは感じております。</p> <p>委員の皆様、他にご意見等ございますでしょうか。</p> <p>それでは、事務局案通り、B評価ということでよろしいでしょうか。</p> <p>ご異議がないようですので、調整の上へ、次回までに評価案を取りまとめたいと思います。</p> <p>続きまして、「(2)健全な経営基盤の確立」、「①業務改善に関する取組」に移りたいと思います。</p>
<p>浅野病院財務課長</p>	<p>事務局よりの説明をお願いいたします。</p> <p>それでは事務局より、目指すべき方向性の「(2)健全な経営基盤の確立」、大項目「①業務改善に関する取組」についてご説明させていただきます。</p> <p>こちらの小項目は2件でございます、両方ともa評価となっております。そのため、ご説明の方は簡単にさせていただきますのでよろしくをお願いします。</p> <p>恐れ入ります。冊子の方の32ページ目、こちらをご覧ください。</p> <p>目指すべき方向性「(2)健全な経営基盤の確立」、大項目「①業務改善に関する取組」、中項目「ア院内情報システムの更新」、小項目「33院内情報システムの更新」でございます。</p> <p>令和2年度の目標につきましては稼働、それに対する実績が稼働とな</p>

<p>登坂委員長</p>	<p>っております。</p> <p>右の方、ご覧いただきまして小項目評価がaとしてございます。</p> <p>説明でございますが、医療総合情報システムに関する運用支援業務委託を締結し、安定的に稼働させた。また、毎月定例会を実施し、安定稼働に向けて情報の共有を欠かさず実施したということから、評価はaとしてございます。</p> <p>恐れ入ります。冊子をおめくりいただきまして 33 ページ目、こちらをご覧ください。</p> <p>中項目「イSPDの導入」、小項目の「34SPDの導入」でございます。</p> <p>令和2年度の目標が実施、それに対する実績が実施、小項目評価でございますが、a評価としてございます。</p> <p>説明としましては、計画通り実施することが出来た。今後も引き続き、適時適切に医療材料等を供給するとともに、在庫、請求、発注及び使用の実績データ等を基に、業務の軽減を図り、物流管理業務の安定的な運営を行うということから、aとしてございます。</p> <p>恐れ入りますA3番の表にお戻りいただきまして、</p> <p>「(2)健全な経営基盤の確立」の大項目「①業務改善に関する取組」、満点 14 点こちらの方をご覧ください。</p> <p>まず、評価の個数でございますが、a評価が2個となります。</p> <p>評価の点数の合計でございますが 9.8 点、そのお隣の満点に対する割合でございますが 70%、病院評価としましてはA評価としてございます。</p> <p>説明は以上になります。</p> <p>ご意見の方よろしく願います。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>ただいまの説明ですが、内部評価は、a評価が2件、平均値による評価はAとなっております。</p> <p>それでは、委員の皆様のご意見、ご質問等を聞いていきたいと思っておりますので、発言をお願いいたします。</p>
<p>増田委員</p>	<p>では、増田委員から願います。</p> <p>私からは特に質問、意見等ございません。よくやってらっしゃると思います。</p>
<p>登坂委員長 尾形委員</p>	<p>以上です。</p> <p>尾形委員、いかがですか。</p> <p>私も両方aということで結構だと思うのですが、1点確認させていただきたいのが、33 ページのSPDの導入です。</p>

<p>登坂委員長 浅野病院財務課長</p>	<p>このSPDの運用は、特に問題とかあるいは、課題ということではなく、順調に進んでいるというふうに考えてよろしいのでしょうか。</p> <p>それでは、浅野病院財務課長。 病院財務課よりご質問に対してお答えさせていただきます。</p> <p>SPDの導入でございますが、令和2年度より、SPDを導入してございます。こちらにつきましては、中央倉庫で、各部署の在庫数の数値化ですとか、在庫の可視化によりまして、不良在庫の抑制や定期的に有効期限を確認し、いわゆる滅菌期限切れの防止ですとか、そういった効果があったというふうに思っております。</p> <p>またですね、購入、使用、在庫データの集約管理と実績に基づく定数の見直し、また、各部署における物品の請求、納品の研修業務、業者対応の軽減負担といった効果があるというふうに考えてございます。</p>
<p>尾形委員 登坂委員長</p>	<p>特に問題はないというふうに理解してよろしいですね。</p> <p>ありがとうございます。</p>
<p>青地委員</p>	<p>青地委員いかがですか。</p> <p>はい特にございません。</p>
<p>登坂委員長</p>	<p>評価通りで、よろしいかと思えます。</p> <p>それでは事務局案通り、A評価ということでよろしいでしょうか。</p> <p>ご異議がないようですので、調整の上、次回までに評価案を取りまとめたいと思えます。</p>
<p>浅野病院財務課長</p>	<p>続きまして、大項目「②収益確保に向けた取組」についてに移りたいと思えます。</p> <p>事務局よりの説明をお願いします。</p> <p>それでは事務局より、大項目「②収益確保に向けた取組」、こちらについてご説明をさせていただきます。</p> <p>恐れ入ります。冊子の方の34ページ目、こちらをご覧ください。</p> <p>大項目「②収益確保に向けた取組」、中項目「ア医業収益の拡大」、小項目「35 病床利用率(一般病床)の向上」についてでございます。</p> <p>令和2年度の目標が83%、それに対する令和2年度の実績が75.2%になってございます。</p> <p>右の方ご覧いただきまして、小項目評価はbとしてございます。</p> <p>説明でございますが、病床利用率については、令和元年度との比較では、2.9ポイント減の75.2%となったというところから、目標に対しては90.6%の達成率というところから、評価はbとしてございます。</p> <p>さらに冊子の方おめくりいただきまして35ページ目、こちらをご覧ください。</p>

登坂委員長	<p>小項目「36 新入患者数(一般病床)の増加」についてでございます。</p> <p>令和2年度の目標でございますが 1,235 人/月、それに対しまして令和2年度の実績は 1,107 人/月でございます。</p> <p>右の方ご覧いただきますと、小項目評価はbとしてございます。</p> <p>説明でございますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響等によりまして、救急車の受入要請に応えられない事例があったことや外来の紹介患者が減少したことなどから新入院患者数は 1,107 人/月となりまして、目標に対して 89.6%の達成率となったことから、このような評価にしております。</p> <p>さらに資料をおめくりいただきまして、39 ページ目、こちらをご覧ください。</p> <p>中項目「イ医業未収金の削減」、小項目「40 医業未収金発生率の抑制」についてでございます。</p> <p>令和2年度の目標は 2.18%、それに対しまして令和2年度の実績は 3.57%となっております。</p> <p>右の方の評価でございますが、c評価としてございます。</p> <p>説明でございますが、新型コロナウイルス感染症蔓延による経済的困窮を理由とした支払い不能を訴える患者が増加しまして、目標値を達成できなかったということから、c評価としてございます。</p> <p>恐れ入ります。A3判の表、こちらをご覧ください。</p> <p>こちらの「(2)健全な経営基盤の確立」、大項目「②収益確保に向けた取組」、満点 57 でございます。</p> <p>評価の個数は、a評価が3個、b評価が2個、c評価が1個となっております。</p> <p>評価の点数の合計でございますが、29.7 点としてございます。</p> <p>それに対する割合でございますが 52%、当院の評価といたしましては、B評価としてございます。</p> <p>説明は以上になります。</p> <p>ご意見のほどよろしく願いたします。</p> <p>はい、ありがとうございました。</p> <p>市立病院の内部評価ではa評価が3件、b評価が2件、c評価が1件となっており、平均値による評価は、Bとなっております。</p> <p>このc評価は、未収金問題でございまして、いまだこの病院でも抱えている問題ではあると思っておりますけれども、これに関しては、まだ上手くいっていないのかなという感じになっておりますが。</p> <p>それでは、委員の皆様のご意見を伺いたいと思っております。</p>
-------	--

<p>増田委員</p>	<p>それでは、増田委員お願いできますか。  増田でございます。  病床利用率に関しては、もちろんコロナの影響なのでしょうけれども。コロナ患者の対応のために、かなり看護職を配置しなきゃいけないということで、実際に病棟の患者数を一部減らしたり、あるいは病棟を休止したりということで、多分使わない病床というのも増やしていると思います。それにより、許可病床に対する稼働病床が減ってしまっているということも含めると、75.2%というのはおそらく許可病床に対する、病床利用率ではあろうかと思うので、その割にはと言ったら失礼ですけども、素晴らしい数字じゃないかというふうに思っております。</p> <p>あとは、コロナ禍でもやるべき医療はあるので、高度な急性期医療を受けるとのことにより、どこの病院も多分、入院診療単価とか外来診療単価は、上がっているというように理解しております。</p> <p>以上です。</p>
<p>登坂委員長 堀之内院長</p>	<p>今の増田委員のご質問に対して、堀之内院長いかがですか。  はい。堀之内でございます。  ご指摘ありがとうございます。  現在、630 床の病床があるのですけれども、コロナ病床 51 床を運営する中で、74 床を休止しております。  ICUの病床8床のうち、現在5床をコロナ病床で運営し、3床は休床し、あるいは1つの病棟は丸々休止をさせていただいて、その看護師を、コロナ病床に充てたり、また小児科の病棟も一部制限しております。  そういうことがありまして、合計で 74 床、1 割以上の病床を休止せざるを得ない状況で、職員には本当に無理をお願いしているところでありますが、数から計算してみるとこういう状況になってしまって、申し訳ないというふうには思っております。</p> <p>今後、コロナ感染症の状況に応じて、看護師の数も、できるだけ増やしていこうというふうに考えているところです。</p>
<p>登坂委員長 尾形委員</p>	<p>ありがとうございます。  それでは尾形委員いかがでしょうか。  ありがとうございます。尾形です。  収益確保に向けた取り組みということですが、35 ページの新入院患者数、これはやはりコロナの影響があって、少し目標を下回ることやむを得ないことかなと思います。  一方で先ほど増田委員もご指摘があったように、36 ページの入院単</p>

<p>登坂委員長 堀之内院長</p>	<p>価、あるいは次の 37 ページの外来単価については、かなり頑張っておられるというふうに思いますし、これが本来の急性期病院という形なのだろうと思います。</p> <p>病床利用率の向上のところ、病院の評価説明の最後のところに、重症度、医療・看護必要度評価の適切な管理を行うというふうに書いてありますが、私がお聞きするのも妙なものなのですが、去年の診療報酬改定で、この重症度、医療・看護必要度の要件を少し変更しました。</p> <p>その影響というのは、やはり出ておられるのでしょうか。これは質問になります。</p> <p>それでは、この件につきまして堀之内院長よろしいですか。</p> <p>院長の堀之内でございます。</p> <p>私の方からご説明いたします。</p> <p>重症度、医療・看護必要度に関しては、カットオフ値を十分に各病棟で一律クリアしているという状況でございます。それに関しては、看護部と入退院支援センターの努力があって、何とかクリアしているという状況です。</p> <p>以上です。</p>
<p>登坂委員長</p>	<p>尾形委員よろしいでしょうか。</p>
<p>青地委員</p>	<p>それでは、青地委員、ご意見をお願いいたします。</p> <p>コロナの影響で病床が減る中で、当然入院患者数も減っているわけですが、高い水準で、いわゆる診療報酬の1日単価を維持してらっしゃるのは、素晴らしいなと思います。</p> <p>私がやっぱり気になりましたのは、未収金ですね。</p> <p>非常に増えているという中で、回収について、一応業務委託ということになっているようなのですが、具体的にどのような形でやられているのかちょっとお伺いできますか。</p>
<p>登坂委員長 増田医事課長</p>	<p>医事課よりお願いいたします。</p> <p>医事課でございます。よろしく申し上げます。</p> <p>未収金回収の業務委託につきましては、未収金の一部を弁護士事務所に引き継いでおりまして、回収を行っております。</p> <p>去年の10月から、今年の3月までを履行期間としまして、現在業務委託を行っております。今後については、比較的長い期間、お渡しすることで、より効率が上がるのではないかと考えておりますので、そういったところを検討材料にしております。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>青地委員</p>	<p>はい。ありがとうございました。</p>



登坂委員長	この未収金というのは、累積金になっているのですか、それとも何年かおきとかになっているのですか。
増田医事課長	<p>医事課でございます。</p> <p>未収金に関しては、さいたま市で、さいたま市債権管理条例というものがございまして、それに基づいて管理をしております。</p> <p>古くなってまだ回収ができていない債権もございますけれども、その条例に基づいて対応しております。例えばご本人が亡くなられて、相続者がいないですとか、あと破産されているとかといった場合が対象になるのですけれども、それ以外では、現状時効が5年とされておまして、その時効の援用があった場合に、不納欠損というふうにしており、そういったことがないものについては、未収債権として残り続けているというような状況です。</p>
登坂委員長 青地委員	<p>以上です。</p> <p>青地委員いかがでしょうか。</p> <p>病院で、例えば公費、生活保護ですとか、そういったことの相談がない状態で、未収になったものは全部委託業者の方に回るといったことなんでしょうか。</p>
増田医事課長	<p>医事課でございます。</p> <p>委託業者をお願いしている債権については、どちらかといえば比較的回収しやすい債権を多く渡して、たくさん回収していただくというふうに考えております。</p> <p>それ以外の債権につきましては、病院の方で督促状を作成しまして、送付をしております。また、外来が継続中の患者につきましては、我々が会った際にお声掛けをして、支払いの相談を行っております。</p>
登坂委員長 青地委員 登坂委員長	<p>以上です。</p> <p>青地委員いかがですか。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>一通りご意見が出ましたので、大項目「②収益確保に向けた取組」については、事務局案通りB評価ということでよろしいでしょうか。</p> <p>ご意見がないようですので、調整の上、次回までに評価案を取りまとめたいと思っております。</p> <p>続きまして、大項目「③費用縮減に関する取組」について移りたいと思います。</p>
浅野病院財務課長	<p>事務局よりの説明をお願いします。</p> <p>それでは事務局より大項目「③費用縮減に関する取組」、こちらについてご説明させていただきます。</p>

<p>登坂委員長</p>	<p>恐れ入ります。冊子の方の 40 ページ目、こちらをご覧ください。  大項目「③費用縮減に関する取組」、中項目「ア材料費の縮減」、小項目「41 材料費対医業収益比率の適正化」でございます。  令和2年度の目標は、23.8%、それに対する令和2年度の実績は、25.2%でございます。  右の方の評価をご覧くださいますと、b評価としてございます。  説明でございますが、目標値の 23.8%を下回ったものの、価格交渉の結果、薬品は、652 品目の内用薬、外用薬及び注射薬について価格変更を行い、年間で約 1,000 万円を削減効果が得られた。また、診療材料につきましては、204 品目について価格変更を行い、年間で約 1,600 万円の削減効果を得られたということから、評価はbとしてございます。  恐れ入ります。A3版の表にお戻りください。  A3版の表の「(2)健全な経営基盤の確立」、大項目「③費用縮減に関する取組」でございますが、こちらは満点 30 点となっております。  評価の個数でございますが、s評価が 1 個、a評価が 2 個、b評価が 1 個となっております。  評価の点数の合計でございますが 18.9 点、評価の割合でございますが 63%、当院の評価でございますがAとしてございます。  こちらの説明については以上になります。  ご意見のほどよろしく願います。</p>
<p>増田委員</p>	<p>それでは、市立病院の内部評価ではs評価が1件、a評価が2件、b評価が1件、平均値の評価はAとなっております。  委員の皆様のご意見を伺いたいと思います。  増田委員からよろしいでしょうか。  43 ページのs評価のESCO事業によるエネルギーの省力化についてですが、前年にお聞きしたときに、新病院になり、かなり規模が大きくなるわけですから、光熱水費がかかるのではないかと伺ったら、目標値は 4,000 万円なのですかと伺ったら、目標値は 4,000 万円とのお答えがありました。結果としては 8,927 万円の実績となっております。  これは、光熱水費が、予想外に多かった結果、年間の削減額も多かったのか。それとも、光熱水費は、使用量自体は、想定範囲内でしたが、こういう事業のために、削減幅が多かったのか。そのあたりをお聞かせいただければと思います。  コロナの影響とかいろいろなことは、あると思いますが。そこを少し質問させていただければと思います。</p>
<p>登坂委員長</p>	<p>それでは、病院施設管理課から願います。</p>

赤沼病院施設管理課長	<p>病院施設管理課の赤沼と申し上げます。よろしく申し上げます。</p> <p>こちらの方でございますが、光熱水費ということよりかは、当初病院で旧のエネルギーセンターというものがございまして、それから新しくエネルギーセンターに更新しております。旧のエネルギーセンター時代のものを基準として、いまの実績をもとにしたものが数値として現れており、その実績が 8,927 万円でございます。</p> <p>ただ、光熱水費の費用という形では算出はしていないのですが、新病院になり、規模が大きくなったことで、電気量は増加しておりますが、ガス主体の熱源設備から変わっておりますので、ガスの使用量はかなり減少しているような状況でございます。</p>
登坂委員長 増田委員	<p>以上でございます。</p> <p>今の説明でよろしいでしょうか。</p> <p>申し訳ないのですが、他の委員は分かりませんが、後半部分は聞き取れたのですが、前半部分がちょっと聞こえなかったのですけれども。</p>
赤沼病院施設管理課長	<p>この熱源システムを作っているエネルギーセンターという施設があるのですが、旧のエネルギーセンターを、新しく更新して、新のエネルギーセンターができております。</p> <p>旧のエネルギーセンターの使用状況を基準にして、今の使用量に合わせていったものが、8,927 万円になっております。</p>
増田委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>これを、今後もこの程度の削減効果が認められ、削減効果が期待できるということでよろしいのでしょうか。</p>
赤沼病院施設管理課長	<p>はい。ここに書いてある通り、熱源設備を効率よく稼働できることによって、このぐらいのパフォーマンスは維持できるかなと考えております。</p>
登坂委員長	<p>増田委員。このような説明ですが、よろしいでしょうか。</p>
増田委員	<p>はい。ありがとうございました。</p>
登坂委員長	<p>それでは、尾形委員ご意見を伺いたいと思います。</p>
尾形委員	<p>私の意見ということではないのですが、増田委員と同じく、多少疑問を持ちまして、43 ページのところですが、やはりこれだとちょっと分かりにくいです。取組内容で適切な管理運営を行った、病院評価説明で今後適切に管理運営していくと書いてあるのですけれども、もう少し具体的に、どういうことなのかというところを書きたくたいと思います。これは要望です。</p>
登坂委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>具体的な数がしっかり現れていますが、評価はどうしますか。</p> <p>青地委員、そのことに加えてご意見を伺いたいと思いますので、</p>

青地委員	<p>よろしく申し上げます。</p> <p>数字から見まして、s評価でいいと思います。</p> <p>ただ、お2人の委員がおっしゃったことは、この取組内容をもう少し具体的にということだと思えます。あとは、何の数字から何が出ているのかということが、このままだと分からないので、多分そういったことをおっしゃっていたのだらうというふうに思えます。</p>
登坂委員長	<p>評価自体は問題ないと思えます。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、委員からご意見を伺いましたESCOに関しては、もう少し具体的な文章を入れて、しっかりとした評価ができるようにしていただきたいというふうに思えます。</p> <p>それでは事務局案通り、A評価ということでよろしいでしょうか。</p> <p>ご異議がないようですので、調整の上、次回までに評価案をとりまとめたいと思えます。</p>
浅野病院財務課長	<p>続きまして、「(2)健全な経営基盤の確立」、「④経営管理体制の整備」に移りたいと思えます。</p> <p>事務局よりの説明をお願いいたします。</p> <p>それでは事務局より、大項目「④経営管理体制の整備」、満点17点、これについてご説明をさせていただきます。</p> <p>恐れ入ります。冊子の方の44ページ目、こちらをご覧ください。</p> <p>大項目「④経営管理体制の整備」、中項目「ア院内組織の見直し」、小項目「45 組織の見直し」でございます。</p> <p>令和2年度の目標は実施、それに関する令和2年度の実績を実施としてございます。</p> <p>右の方の評価でございますが、b評価としてございます。</p> <p>その説明でございますが、地域の医療機関との連携強化を図るため、患者支援センターの人員を1名増員し、病院経営部を1名減としたところでございます。その一方、新型コロナウイルス感染症の影響により、通常と異なる業務量、人員配置のため、業務量の把握はできていない。新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえまして、業務量把握に努め、組織体制の見直しを検討するということから、b評価としてございます。</p> <p>恐れ入ります。A3版の表にお戻りください。</p> <p>A3版の表の「④経営管理体制の整備」、満点17でございますが、こちら項目的には2項目でございます。</p> <p>評価の個数でございますが、a評価が1個、b評価が1個なっております。</p>

<p>登坂委員長</p>	<p>います。</p> <p>評価の点数の合計でございますが 8.9 点、それに対するパーセンテージでございますが 52%となっております。</p> <p>病院の評価は、B評価としてございます。</p> <p>ご説明については、以上になります。ご審議のほどよろしく願いいたします。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>さいたま市立病院の内部評価では、a評価が 1 件、b評価が 1 件で、平均値による評価はBとなっております。</p> <p>それでは、委員の皆様のご意見、ご質問等をお受けしたいと思いますので、ご発言をお願いします。</p>
<p>増田委員</p>	<p>まず、増田委員いかがですか。</p> <p>はい、ありがとうございます。</p> <p>特に私からはございません。私だけかもしれませんが、ちょっと後段の部分が説明を聞き取れなかったのですが、内容的には、特にこの評価で異論はございません。</p>
<p>登坂委員長</p>	<p>以上です。</p> <p>ありがとうございます。</p>
<p>尾形委員</p>	<p>それでは尾形委員いかがですか。</p> <p>はい。尾形です。</p> <p>45 ページのa評価になっている、経営状況に関する説明会(研修会)の実施ということですが、病院評価説明にも書いてありますように、これを開催されたことは大変結構なことだと思うのですが、参加者が 58 名ということで、かなり少ないので、ここにも今後は参加対象者の拡大を検討していくと書いてありますが、例えば対面会議ではなく、院内でのWeb開催ということもありえるのではないかというふうに思います。これは感想として申し上げておきます。</p>
<p>登坂委員長</p> <p>青地委員</p> <p>登坂委員長</p>	<p>以上です。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、青地委員いかがですか。</p> <p>私の方からは特にございません。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>それでは事務局案通り、B評価ということでよろしいでしょうか。</p> <p>お顔が見えないので、もし何かあれば、ミュートを外してご意見を伺いたいと思います。</p> <p>それではご意見がないようですので、調整の上、次回までに評価案</p>

<p>浅野病院財務課長</p>	<p>をとりまとめたいと思います。      続きまして、大項目「⑤職員の確保・人材育成と適正配置」に移りたいと思います。      事務局よりの説明をお願いいたします。      それでは、大項目「⑤職員の確保・人材育成と適正配置」、こちらについてご説明をさせていただきます      恐れ入ります。冊子の方の 46 ページ目、こちらをご覧ください。      大項目「⑤職員の確保・人材育成と適正配置」、中項目「ア必要人員の確保」、小項目「47 職員の増員」についてでございます。      令和2年度の目標が 1,038 名、それに対する令和2年度の実績は 992 名となっております。      右の方の小項目評価でございますが、b評価してございます。      その説明でございますが令和2年度末と令和元年度末の比較では、医師1名増、看護職員 71 名増、医療技術員9名増、事務職員1名増、労務職員2名減で、合計 80 名増となり、医師以外は計画人員を概ね確保したということから、評価はbとしてございます。      恐れ入りますA3番の表の方にお戻りください。      大項目「⑤職員の確保・人材育成と適正配置」、満点 23 点でございます。</p>
<p>登坂委員長</p>	<p>評価の個数ですが、a評価が 3 個、b評価が 1 個でございます。      評価の点数の合計でございますが 13.1 点、割合でございますが 57% となっております。      当院の評価でございますが、B評価としてございます。      説明は以上になります。ご審議のほどよろしく願います。      ありがとうございます。</p>
<p>堀之内院長</p>	<p>さいたま市立病院の内部評価では、a評価が3件、b評価が1件、平均値による評価はBとなっております。最初に私の方から伺いたいと思うのですが、看護職員 71 名増で、今後のコロナ病棟や夜間休日といった問題はないのでしょうか。      堀之内先生よろしければお願いします。      堀之内でございます。      この看護師の数に関しましては、計画は 667 名ということで、現在マイナス 5 名でしているところです。予測している病床の運用に関しましては、83%を予測しているのですが、コロナ病棟では、看護師をかなり配置しないと上手く回らないところです。      あと、手術科や救急の看護師にも十分な手当がまだ整っていない</p>

<p>登坂委員長 増田委員 登坂委員長</p>	<p>ところもあります。</p> <p>また、産休、育休の看護師が、当院かなり多いということもありまして、もう少し看護師を増やして、余裕のある運営をしていきたいというふうに思っております。</p> <p>医師についても、必要な部分を手当しないといけないと、重々承知しておるのですが、なかなか難しいところがあります。</p> <p>以上です。</p> <p>それでは、増田委員ご意見をいただきますでしょうか。</p> <p>(回線が不安定となり、音声が不明瞭となり、聞き取りができず)</p> <p>すいません。増田委員のお声は皆様聞こえましたでしょうか。</p> <p>ちょっと、私の方、聞き取れなかったのですが、もう一度お願いできますでしょうか。</p>
<p>増田委員</p>	<p>医師については、なかなか難しいところがあって、実るか実らないかは別として努力を続けるしかないかなと思っております。同じような悩みを抱えているというところでは。</p>
<p>高橋病院総務課長</p>	<p>看護職に関して質問させていただきたいのは、川崎市では、産休育休は定数外、定数は要するに実働の人だけというような理解で運用しております。常時、30人から40人程度の看護職の産休育休がいるものですから、プラスアルファして定数としているところなのですが、さいたま市立病院はいかがでしょうか。</p> <p>それでは、病院総務課からお答えをさせていただきます。</p> <p>当院におきましては、条例上の育児休業者を定数外とはしておりませんので、定数内にはなるのですけれども、あらかじめ、産休育休者を35名分ということ想定して、その分を人員として、あらかじめ定員の中に含んでいる形になっております。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>登坂委員長 堀之内院長</p>	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>堀之内ですが、追加をいたします。</p> <p>35人は、予測されている産休として扱っており、定数に対しては除外という形ですけれども、現在35名を上回って、産休の方が居たり、あとは、子育てで時短勤務を選ばれている方が多いということで、夜勤の回数とか、そういうところで苦勞をしているところでございます。</p>
<p>登坂委員長 増田委員</p>	<p>増田委員よろしいでしょうか。</p> <p>私どもも、同じように育休から復帰されても、短時間勤務をされている看護師が多くて、夜勤の調整が難しく、夜勤専従の看護師を配置していたり、色々なことをやっておりますが、市立病院となると他の民間病院と</p>

<p>登坂委員長</p>	<p>違い、そのあたりは手厚くなっております。同じような悩みがありますが、これは仕方がないことだと思っております。</p>
<p>尾形委員</p>	<p>はい。ありがとうございます。 尾形委員いかがでしょうか。</p>
<p>登坂委員長</p>	<p>はい。尾形です。 評価については、とくにこれで異論はございませんが、1点 46 ページの職員の増員というところについて、問題提起をさせていただきたいと思えます。 ここでは、目標が 1, 038 名で、実績が 992 名で達していないので評価がbとなっています。これはこれでいいと思うのですが、例えばこれ以上非常に大幅に採用したら、sになるのかということです。多分そうではないのだろうと思うのです。 例えば、この目標値にできるだけ近づけていくという、そういう評価であるべきだというふうに思いますので、これは問題提起として申し上げておきたいと思えます。</p>
<p>青地委員</p>	<p>ありがとうございます。 それでは青地委員いかがでしょうか。</p>
<p>登坂委員長</p>	<p>よろしいかと思いますが、1つ伺いたいです。職員の採用のところで、医師以外については、概ね人員を確保したとなっておりますが、そうすると差し引いた数が約 40 名になると思えます。 看護師がマイナス5名というお話をされていましたが、そうすると、約 30 名医師が足りないという状況で今運用されていると思うのですが、具体的には、例えば診療科が偏っていたりですか、何かそういったことはございませんでしょうか。</p>
<p>高橋病院総務課長</p>	<p>それでは事務局からお願いします。 病院総務課からお答えをさせていただきます。 まず医師の欠員につきましては、診療科に偏りがあるというわけではありません。 先ほどの人数が 40 人ぐらい異なるというところなのですが、1,038 名は定員の人数、先ほど目標の作り方について、ご指摘いただきましたけれども、定員が 1,038 名になりまして、992 名につきましては、令和 2 年度の 3 月末での職員数でございます。年度末に近づきますと、職員の退職者がどうしても出てきてしまうところがありまして、年度末になると若干マンパワーが少なくなるというところがあります。職員数の定員との差が一番大きくなるのが、ちょうど年度末という形になりまして、それが 40 名というところになります。</p>



	<p>医師の方につきましては、通年ベースで、人員が若干不足しているところがあるのですけれども、その他の職員数につきましては、その定員に、おおむね近い形になっているところでございます。</p> <p>以上でございます。</p>
登坂委員長	<p>(回線が不安定により、音声がか断されたため)</p>
堀之内院長	<p>堀之内院長、代わりにお願いできますか。</p> <p>事務局からの説明の通りでございますが、やはり 600 名近い看護師がおりますと、年度末あるいは年度途中で退職、異動がありますので、その人数がこの数字に表れていると理解しております。</p> <p>以上です</p>
登坂委員長	<p>どうもありがとうございます。</p>
青地委員	<p>青地委員いまの説明でよろしいでしょうか。</p>
堀之内院長	<p>そうすると具体的に何名ぐらい不足している状況なのですか。</p> <p>医師としては、20 名弱、18 名とか 19 名だと思います。</p>
登坂委員長	<p>看護師については、6月 30 日の時点で数字上では、マイナス5名となっております。</p> <p>ありがとうございます。青地委員よろしいですか。</p> <p>また、この足りない数につきましては、しっかりとしてもものを出したいと思えます。</p>
	<p>それでは、事務局案通りBということで、よろしいでしょうか。</p> <p>それではご意見がないようですので、調整の上、次回までに評価案をとりまとめたいと思えます。</p> <p>以上、9つの全ての大項目の評価が終了しました。</p> <p>議事を次に進ませていただきます。</p> <p>それでは、「Ⅱ 収支計画・主要経営指標の達成状況」について事務局からの説明をお願いします。</p>
浅野病院財務課長	<p>それでは、事務局より、「Ⅱ 収支計画・主要経営指標の達成状況」についてご説明をさせていただきます。</p> <p>恐れ入ります。冊子の 50 ページ目をご覧ください。</p>
増田委員	<p>(回線が不安定となる。音声通信が不明瞭となり、聞き取れず。)</p>
堀之内院長	<p>回線の状況が非常に悪くなっているようで、皆様にはご迷惑をかけております。</p>
増田委員	<p>(回線が不安定となる。音声通信が不明瞭となり、聞き取れず。)</p>
浅野病院財務課長	<p>病院財務課長の浅野でございます。</p>
増田委員	<p>皆様、音声の方、届いてますでしょうか。</p> <p>(回線が不安定となる。音声通信が不明瞭となり、聞き取れず。)</p>

青地委員 登坂委員長	<p>(回線が不安定となる。音声通信が不明瞭となり、聞き取れず。)</p> <p>これは中止にせざるを得ない。</p> <p>大項目 I が終わったから、電話で先方に知らせて、本日はここで終了とさせていただきますと伝えるべきだ。委員をずっと待たせていてもしょうがないだろう。</p>
浅野病院財務課長	<p>病院財務課長の浅野でございます。</p> <p>皆様、音声の方、届いてますでしょうか。</p>
尾形委員 浅野病院財務課長	<p>尾形ですが、聞こえてますでしょうか。</p> <p>病院財務課長の浅野でございます。</p> <p>尾形先生の音声は、届いてございます。</p>
尾形委員	<p>先ほどから、事務局と音声と映像がつながらなくなってまして、ご予定があるということだったので、増田委員が5分前に退室をされました。</p>
浅野病院財務課長	<p>病院財務課長の浅野でございます。</p> <p>ありがとうございます。この度、回線の状況が悪く、非常にご迷惑をおかけしてございます。</p>
各委員	<p>一点、ご提案でございます。今回の議題は、2点でございます。まず1点目が「中期経営計画の達成状況に対する評価」に対するご意見を頂戴する、2点目が「中期経営計画 改定の方向性」についてのご報告をする予定でございました。</p> <p>一点目の評価につきましては、ご意見を頂戴いたしましたので、目的を達成できたかなと考えてございます。</p> <p>その他の財務状況、指標のご報告につきましては、なにかご意見があれば書面にて頂戴するという形にしたいと思います。</p> <p>また、議題の2点目の「中期経営計画 改定の方向性」こちらにつきましても、合わせてご意見を書面にて頂戴させていただければと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>(ご意見及びご発言なし。)</p> <p>それでは、そのような形とさせていただきます。</p> <p>以上をもちまして、本日の経営評価委員会を終了とさせていただきます。</p> <p>本日は、いろいろ不手際がございまして、大変申し訳ございませんでした。</p>
登坂委員長 浅野病院財務課長	<p>また、次回もよろしく願いいたします。</p> <p>次回の日付だけお伝えしてください。</p> <p>大変失礼いたしました。次回の開催についてもご案内いたしたいと思います。</p>

次回の開催でございますが、8月19日(木曜)10時からで考えてございます。

皆様のご都合につきましては、再度ご確認をさせていただきたいと思いますが、その点お含めおきいただければと思いますので、どうぞよろしく願います。

以上をもちまして、会議を終了したいと思います。

本日は、ご参加いただきまして、ありがとうございました。